

INFORMATION

~これからの支部 啓発事業実施予定~

北方領土訪問思い出写真①



平成29年8月26日択捉島訪問、ホームプロジェクトでのロシア料理。たいへん美味で、ウオッカも飲みました。

北方領土返還要求 中標津住民大会の開催!!

「第68回なかしべつ夏まつり」の初日に夏まつり会場において、北方領土返還要求住民大会を開催する予定です。今年も恒例の「北方領土ピンゴ大会」を盛大に行い、地域住民の皆さんと相互理解を深めていきます。また、会場内には署名コーナーを設置して署名活動を行いますのでご協力よろしくお願いします。



北方領土返還要求パネル展及びNEW北方領土書道展開催!!



北方領土返還要求強調月間啓発事業として、北方領土パネル展を中標津総合文化会館(しるべつ)町民ロビーで8月14日まで展示。また、新たな啓発事業として町内の小学生(5・6年生)を対象とした「北方領土書道展」を9月10日から20日まで文化会館町民ホールに展示します。懐かしい写真パネルの展示と小学生力作の書道展を是非ご覧下さい。



「北方領土寄席 in なかしべつ」開催予定!!

青年部単独事業として2年ぶりに「北方領土 in なかしべつ」を開催する予定です。開催時期は現在調整中ですが、第13回目となる「金八寄席」や好評の「お楽しみ大抽選会」を総合文化会館で実施します。ロシアによるウクライナ侵攻以後、暗いニュースばかりで北方領土問題は解決の糸口さえ見えない状況ですが、こんな時だからこそ「笑顔」と「絆」で北方領土返還運動を盛り上げていきましょう!



会員の皆様へ

- 会員募集中!**
支部会員が年々減少しています。会員の方々のご家族や知人等で千島連盟に加入されていない元島民や後継者(子・孫)の方々には是非入会をお勧め下さい。
- 会費納入のお願い**
千島連盟は皆さんの会費で運営されています。未納の方は早めに納入頂きますようお願いいたします。(本部会費は年額2,000円です)

編集後記

ロシアによるウクライナ侵略の影響により北方墓参や自由訪問などの四島交流事業の中止は今年で5年となります。親族が眠る島での墓参は、元島民や家族の切なる願いであり、早期に再開出来る事を願うばかりです。元島民の方も高齢となり、返還運動は後継者にバトンが引き継がれています。「領土問題を風化させない」ためにも、住民参加型の啓発活動を展開して地域住民の皆さんと一緒に返還運動の機運を盛り上げていきましょう。
(事務局長 松本)

千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部通信 **望 郷** Vol.17
発行日/令和6年7月1日 題字/宮脇 田鶴子
発行所/千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部 〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地 中標津町役場内
TEL(0153)73-3111(内線525)・FAX(0153)73-5333

四島思い 心に点す 返還の日
[令和5年度 標語 最優秀賞]

若い人達と共に返還運動推進

今年度も8月20日をスタートに北方領土洋上慰霊が行われる。今年は新たに1泊2日の国後コースが設けられ、知床半島突端の近くが慰霊ポイントとなり、しっかりと爺爺岳が眺望できるのではと期待が高まります。北方墓参・自由訪問、航空機墓参などが、いまだ見通しが立たない状況下であり、洋上慰霊はその代替え事業であり3回目を迎える。コロナ感染症やロシアのウクライナ侵攻により島でのお墓参りが出来なくなり5年の月日が過ぎ(令和2年3月末で5771人の元島民が676人亡くなり現在5095人)多くの元島民が他界した。元島民の望郷の念を決して忘れることなく次世代に引き継いでいかなければならない。そして我々2世は若者を育成する責務があることを忘れてはいけない。

今年支部事業で「北方領土書道展」を始めて開催、小学高学年生を対象に北方領土問題の高揚を目的に行います。青年部でも「北方領土寄席」を行うこととしています。3世や若い人達の知恵と行動力を借りながら事業を推進して参りますので、皆様のお力添えとご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。



中標津支部長 館下 雅志

令和6年度 千島連盟中標津支部通常総会終わる!



令和6年度千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部通常総会が4月12日(金)中標津経済センターにおいて開催されました。総会には、森 弘樹千島連盟専務理事をはじめ5名の方を来賓に迎え、会員30名の出席により、昨年度の事業報告及び決算報告、本年度の事業計画及び収支予算案並びに本年度に計画する啓発活動推進事業等、上程された議案全てが全会一致で承認されました。館下支部長は挨拶で、自由訪問や北方墓参が出来なくなっている現状を踏まえ、「高齢のため残された時間が多くはない元島民にとって痛恨の極み。一日も早く故郷での墓参りが出来るよう要望していく」と力を込めた。総会終了後、支部青年部主催による交流会が5年ぶりに「大和殿」にて行われ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。北方領土の返還に向けては大変厳しい状況が続いていますが、様々な工夫を凝らした啓発活動を展開してまいりますので会員皆さんの協力を宜しくお願いします。



令和6年度 支部青年部定期総会終わる！

本年度の青年部定期総会は、先に開催した理事会において定期総会の開催を取りやめ、書面による議決とし、支部総会終了後の交流会を青年部が主催し、交流会を意見交換の場として懇談しました。

田中晴樹青年部長の冒頭挨拶で、現状において先が全く見えない返還運動ではあるが、ここで歩みを止めることなく、我々後継者が元島民の思いを汲んで後世に伝えるべく積極的に啓発活動を展開していくことが重要であり後継者に課せられた使命である」と強く訴えていました。

昨年度末で新たに6名の後継者が入会し、青年部会員43名による後継者活動がスタートします。本年度は、2年ぶりに「金八寄席事業」の実施を予定するとともに、次世代に向けた啓発事業として町内の小学生を対象とした「北方領土書道展」を初めて開催する予定です。

後継者ならではの時代に即した啓発活動を展開してまいりますので皆さんの協力をお願いします。

◇令和5年度支部・青年部入会者／白井経雄(国後島2世)・川口貴昭(国後島3世)・川口彩奈(国後島3世)
矢萩洋司(国後島3世)・家政幸徳(賛助)・水野正司(賛助)



令和6年上半期 啓発事業報告

■「なかしべつ冬まつり」 署名啓発活動の実施

「北方領土の日」特別啓発事業として、第49回なかしべつ冬まつり会場で町議会議員や高校生の協力をいただいた署名活動と北方領土パネル展を開催いたしました。

署名コーナーの横では、根室管内後継連が制作した「北方領土輪投げゲーム」を実施。

冬まつり会場にはマスコットキャラクター「エリカちゃん」と「エリオくん」も登場し、会場内は子供たちとの触れ合いを通じての有意義な啓発活動が展開されました。



令和6年度 (公社) 千島連盟通常総会終了！

5月27日(月)、札幌市内で道内外の元島民ら約90人の出席により令和6年度通常総会が開催されました。総会に先立ち、長年にわたり返還運動に尽力された中標津支部副支部長の板倉清三さんを含む10名の方々に千島連盟の松本理事長より功労者表彰が行われました。

松本理事長の総会挨拶では、元島民の高齢化や、墓参が冷戦下でも継続していた歴史的経緯を踏まえ「墓参や自由訪問はなんとしてでもするという思いで交渉を進めてほしい。ロシアとの関係改善を待つ余裕は元島民にはない」と強調されていました。

総会には当支部から7名が出席し、上程された議案すべてが承認され、政府に対し、北方領土墓参をはじめとしたビザなし渡航の早期再開と返還運動への担い手である後継者の活動への支援充実と北対協融資の対象者拡充の決議が採択された。



「北方領土問題現地青年の集い」別海町で開催！

(公社)千島連盟主催の令和6年度「北方領土問題現地青年の集い」が5月18日(土)、別海町内で開催され、道内外の後継者51人が参加し、北方領土問題の現状と次世代に返還要求運動を広げる取り組みなどについて活発な意見交換がなされた。

講演では、講師として、千島国通史研究会共同代表の横島公司氏による「北方四島の歴史的位相～千島国・根室国という視点から」と題した千島国と千島列島の歴史的な概念と平和的に活動し続け、平和を願い続けてきた元島民の運動姿勢等、日本と千島の関係から先人たちの歴史にも目を向けることも必要との興味深いお話を聞くことができました。

本会終了後には中標津町内の「ホテル秀月」で交流会が催され、親睦を深めることが出来ました。



■「北方領土クイズ大会」 の実施

「北方領土の日」特別啓発期間における町民への啓発活動として、「北方領土クイズ大会」を昨年に続き実施しました。

領土クイズ10問の回答を葉書で応募していただき、正解率8割以上の方から抽選で30の方に「乳製品詰合せ」をプレゼント！

北方領土問題を少しでも理解していただけた大変有意義な啓発事業となりました。



■開陽台での街頭署名 NEW 活動の実施

なかしべつ観光協会主催の開陽台オープンイベントが5月3日から5日までの3日間、開陽台を会場に開催され、支部青年部の協力により5月3日の初日に署名活動を行いました。

また、4日と5日は観光協会の協力により署名活動をしていただき、3日間で380筆の署名が集まりました。ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

